



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2018年7月31日

上場会社名 ヲタカフーズ株式会社
 コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部長
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 (氏名) 橋本 淳
 (氏名) 岸本 一人
 TEL 0569-72-1231

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	5,421	2.5	302	22.3	357	22.6	252	27.0
2018年3月期第1四半期	5,288	4.8	247	9.7	291	8.4	198	15.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	36.31	
2018年3月期第1四半期	28.60	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	21,928	19,054	86.9	2,742.24
2018年3月期	22,470	19,151	85.2	2,756.22

(参考)自己資本 2019年3月期第1四半期 19,054百万円 2018年3月期 19,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		20.00		20.00	40.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,700	1.1	450	5.3	510	4.2	360	8.1	51.81
通期	22,300	0.5	1,030	4.6	1,140	4.6	790	23.4	113.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	8,832,311 株	2018年3月期	8,832,311 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,883,805 株	2018年3月期	1,883,805 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	6,948,506 株	2018年3月期1Q	6,948,638 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び設備投資には底堅さが見られ、雇用・所得環境の改善傾向が続く中、個人消費は足踏みが見られましたが総じて緩やかな景気回復が続きました。その一方、米国の保護主義への傾斜やそれに伴う貿易摩擦の激化へのリスクの高まり等今後の世界経済に与える不安心理が増大し、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第1四半期累計期間の売上高は5,421百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は302百万円（前年同期比22.3%増）、経常利益は357百万円（前年同期比22.6%増）、四半期純利益は252百万円（前年同期比27.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

液体調味食品部門は、鰻のシラスの漁獲が細る中、今年は不漁の為、うなぎのたれの市販用・業務用のどちらも売上が減少したことにより、売上高は1,006百万円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益は74百万円（前年同期比47.9%減）となりました。

粉粒体食品部門は、粉末スープの受託が伸び悩み、売上高は1,048百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益は23百万円（前年同期比25.9%増）となりました。

チルド食品部門は、受託が低調に推移し、売上高は754百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益は90百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

即席麺部門は、大型のカップ麺の受託が順調に推移し、売上高は2,148百万円（前年同期比14.4%増）、セグメント利益は105百万円（前年同期は29百万円のセグメント損失）となりました。

その他は、水産物の取扱量が若干増加し、売上高は463百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は7百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第1四半期会計期間末における資産の部は21,928百万円となり、前事業年度末と比べ541百万円減少しました。これは主に、流動資産において売掛金が275百万円、固定資産において投資有価証券が301百万円減少したことによるものであります。

負債の部は2,874百万円となり、前事業年度末と比べ444百万円減少しました。これは主に、買掛金が286百万円、賞与引当金が114百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は19,054百万円となり、前事業年度末と比べ97百万円減少しました。これは、利益剰余金が113百万円増加し、その他有価証券評価差額金が210百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,071	6,162
売掛金	2,334	2,058
商品及び製品	442	517
仕掛品	30	29
原材料及び貯蔵品	288	240
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	17	22
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	14,677	14,523
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,945	1,916
機械及び装置（純額）	1,721	1,660
その他（純額）	1,111	1,121
有形固定資産合計	4,778	4,698
無形固定資産	20	18
投資その他の資産		
投資有価証券	2,856	2,555
その他	137	132
投資その他の資産合計	2,994	2,688
固定資産合計	7,793	7,405
資産合計	22,470	21,928

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,567	1,280
未払法人税等	178	70
賞与引当金	183	68
役員賞与引当金	5	1
その他	431	544
流動負債合計	2,365	1,965
固定負債		
繰延税金負債	227	179
退職給付引当金	712	715
役員退職慰労引当金	12	13
固定負債合計	953	908
負債合計	3,318	2,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	19,014	19,127
自己株式	△3,456	△3,456
株主資本合計	17,879	17,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,272	1,062
評価・換算差額等合計	1,272	1,062
純資産合計	19,151	19,054
負債純資産合計	22,470	21,928

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	5,288	5,421
売上原価	4,762	4,861
売上総利益	526	560
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	86	85
賞与引当金繰入額	10	9
役員賞与引当金繰入額	1	1
退職給付費用	9	8
役員退職慰労引当金繰入額	0	0
貸倒引当金繰入額	0	-
その他	171	153
販売費及び一般管理費合計	279	257
営業利益	247	302
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	30	37
雑収入	9	12
営業外収益合計	46	56
営業外費用		
賃貸費用	1	1
雑支出	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	291	357
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除売却損	6	0
固定資産撤去費用	0	-
特別損失合計	7	0
税引前四半期純利益	283	357
法人税、住民税及び事業税	50	62
法人税等調整額	34	42
法人税等合計	85	105
四半期純利益	198	252

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社における、製品及び仕掛品の評価方法は、従来、総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）を採用しておりましたが、当第1四半期会計期間より、移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この評価方法の変更は、たな卸資産の評価及び期間損益計算をより適切かつ迅速に行うことを目的としたものであります。

なお、当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響が軽微であるため、遡及適用しておりません。

また、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計(注)2
	液体調味 食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,070	1,121	769	1,877	4,838	449	5,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,070	1,121	769	1,877	4,838	449	5,288
セグメント利益又は損失(△)	143	18	103	△29	237	9	247

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計(注)2
	液体調味 食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,006	1,048	754	2,148	4,958	463	5,421
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,006	1,048	754	2,148	4,958	463	5,421
セグメント利益	74	23	90	105	295	7	302

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。